

エンバイシスは、独自のPUF担体による排水中の油脂分解消滅処理を実現。

近年、油脂含有排水の処理に期待が集まっているのが、PUF流動床式生物処理法です。従来の加圧浮上処理などの物理化学的処理では、多量の産業廃棄物発生による処分費用や腐敗による悪臭などの問題がありました。また、固定床や活性汚泥法等の生物処理では、油分によるろ床の閉塞やバルキングにより、排水中の油脂分解が困難であり、さらに多量の余剰汚泥の処分費用にも問題がありました。ところが、PUF流動床式生物処理法は、シンプルな構成ながら生物工学のノウハウが蓄積されているため、そのような問題もなく、容易な維持管理を始め、油脂分解消滅処理に高い優位性を誇ります。

特長

微生物が高効率で分解処理、優れた能力のPUF流動床
PUF流動床は、エンバイシス独自の特殊ポリウレタンフォーム担体が、流動床内に自由に流動するシステムで、担体内には高密度、多種類の微生物が生育しています。よって、処理能力は、ろ床の閉塞やバルキングがなく、常に安定した生物相を形成しているため、油脂分解消滅処理において高効率です。また、発生汚泥が少ないのも流動床ならではのメリットです。

優れた処理システムとコンパクトな設置面積

PUF流動床式生物処理槽内に高濃度で多種類の微生物を保持できるため、高い油脂及び有機物質負荷において、優れた処理能力を実現し、コンパクトな設備の構築も可能です。

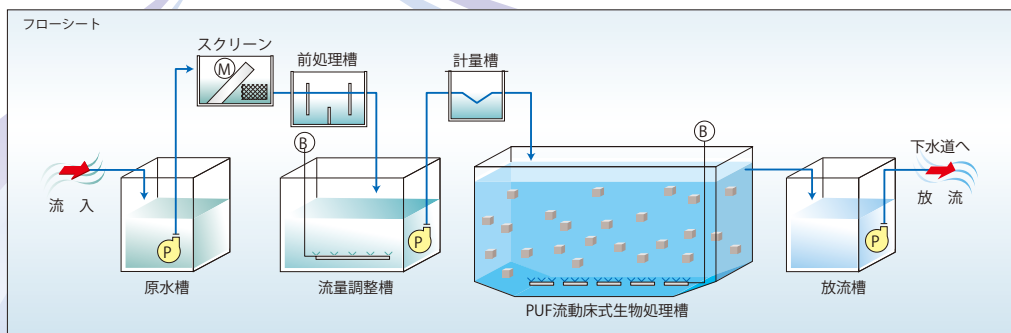
容易な維持管理

微生物濃度の制御や担体と処理水の分離が容易であり、操作性が非常に良く、維持管理もきわめて容易です。

ランニングコストの低減

担体内部に生育する多種類の微生物による食物連鎖で余剰汚泥が極めて少なく、システム内に沈殿分離操作を必要としません。PUF流動床を経た処理水は、すでに下水道に直接放流が可能な水質になっています。

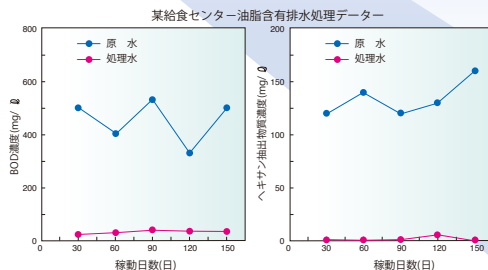
PUF



PUF流動床式生物処理槽



PUF担体

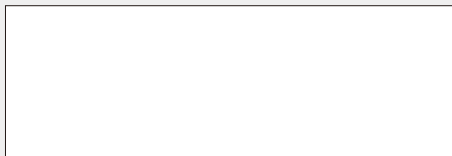


株式会社エンバイシス

<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~env/>

本社/〒670-0972 兵庫県姫路市手柄2丁目121番地
TEL.0792-34-1800 FAX.0792-33-0395
東京営業所/〒136-0071 東京都江東区亀戸1丁目8番4号 由田ビル5F
TEL.03-3636-2611 FAX.03-3636-2614
神戸営業所/〒650-0022 神戸市中央区元町通3丁目17番8号 TOWA神戸元町ビル7F
TEL.078-393-1154 FAX.078-393-1164
技術研究所・工場/〒671-2134 兵庫県飾磨郡夢前町菅生溝923-2
TEL.07933-5-3378 FAX.07933-5-3141

※仕様及びデザインは予告なしに変更する場合がありますので予めご了承ください。



ENVISYS
ENVIRONMENT SYSTEM

油脂含有排水の
処理に
困っていませんか？

油を生物により分解する

厨房排水用

高い処理能力で油脂分解消滅処理。維持管理・設置も簡単、油脂含有排水の処理はお任せ下さい。

PUF流動床式生物処理システム



株式会社エンバイシス